

講演会のお知らせ

テーマ：「屋久島の海の森：藻場のこれまでとこれから」

講師：寺田竜太氏（鹿児島大学大学院連合農学研究科教授、研究科長）

期日：2023年11月18日（土）午後2時～4時

会場：屋久島町役場議会棟会議室

主催：屋久島持続的資源利用研究会（代表中島成久法政大学名誉教授）

後援：屋久島町・屋久島環境文化財団

* 無料、事前予約不要、問い合わせ先：nnaka@hosei.ac.jp

講演要旨：

山に森があるように、海の中にも森があります。海の中の森は「藻場」とも呼ばれており、海藻などが繁茂する場となっています。藻場は、さまざまな魚介類の暮らす場所や産卵場所であることや、海藻類が光を浴びて酸素を出すことから、沿岸域の生態系を支える存在として重要です。屋久島の沿岸には、岩場を中心に藻場が随所に見られます。しかし、近年、藻場が衰退したり、熱帯性種に置き換わったりするなど、問題となっています。今回は、屋久島の藻場の状況と問題点、今後の変化についてわかりやすくお話しします。

講師プロフィール

1993年北海道大学水産学部卒業、1999年北海道大学大学院水産学研究科修了（博士、水産学）

2001年鹿児島大学水産学部助手、2003年助教授（2007年以降は准教授）、2016年現職
環境省レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会藻類分科会）委員
環境省モニタリングサイト1000（重要生態系監視地域モニタリング推進事業沿岸域調査）委員他

Ryuta Terada, et al. (2021). Japan's nationwide long-term monitoring survey of seaweed communities known as the "Monitoring Sites 1000": Ten-year overview and future perspectives. *Phycological Research* 69: 12-30 DOI:

10.1111/pre.12395 などの専門的な論文以外に、『海藻の疑問 50』（成山堂書店、2016年）などの一般書執筆多数。

* 2000年代には、環境省自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査）で九州沖縄各地の藻場を調査し、2010年代以降は環境省モニタリングサイト1000沿岸域調査や環境省レッドリスト改訂作業を通して、全国各地で調査を行ってきました。現在でも自らタンクを背負って潜り、調査をしています。